

Press Release

報道各位

2021年6月10日

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ美術振興財団

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 開館30周年記念イベントによる延長開館のお知らせ

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）は開館30周年を記念して、NHK高松放送局とともに「かがわ 絵顔（えがお）プロジェクト」を実施します。

本プロジェクトでは、「いま描きたい顔」を広く一般から募集し、展示・映像化するなど、さまざまな形で展開していきます。

8月13日～15日には、寄せられた「絵顔」をもとに制作した映像をMIMOCAの壁面に投影します。それに伴い、期間中は全館18時から20時まで延長開館いたします。プレスの皆様には周知いただきたく、お願い申し上げます。



Photo by Yoshiro Masuda

■延長開館

｜期間｜2021年8月13日(金)～8月15日(日)

｜延長時間｜18:00-20:00

｜観覧料｜企画展 一般950円（760円）、大学生650円（520円）
常設展 一般300円（240円）、大学生200円（160円）

※高校生以下または18歳未満、丸亀市在住の65歳以上、各種障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

※企画展観覧料は同時開催常設展観覧料を含む

※（ ）は20名以上の団体料金

■丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 開館30周年記念 「NHK かがわ絵顔プロジェクト」について

MIMOCA開館30周年を記念して、NHK高松放送局とともに特別企画。

”100年に1度の危機”といわれる現代を生きる人々の想い、心の声をアートを通じて紡ぎ出すプロジェクトです。閉塞感や将来への不安を少しでも癒し、明るい未来を描くことで「アートはバイタミン」という猪熊弦一郎の意思を次世代へと繋げていきます。

「“絵顔”」作品募集

応募締切：2021年6月28日（月）必着

応募方法：詳細はNHK高松放送局のホームページをご覧ください。

なお6月11日(金)~13日(日)丸亀市市民交流活動センター「マルタス」にてワークショップ実施。

猪熊は最愛の妻を失った空虚を埋めるために“顔”を描き始め、やがて「顔もまた抽象形態の集まり」であるとして形を追求していきました。

本プロジェクトでは、猪熊と同じように、さまざまな人に心を癒す“顔”を描いてもらいます。今の自分の顔、これからなりたい顔、大切な人の顔など自分が描きたい“顔”を集めて、いまを生きる人々の心を見つめます。応募いただいた作品は「マルタス」や県内複数会場にて展示を行うなど、さまざまな展開を予定しています。詳細は後日発表。



スペシャルステージイベント

日時:2021年8月15日(日) 時間未定

会場:MIMOCA ミュージアムホール

集まった“絵顔”の公開を記念して、NHK Eテレ「びじゅチューン!」を手がけるアーティスト井上涼氏をゲストにステージイベントを開催します。

期間中の展覧会情報

「猪熊弦一郎展 いのくまさんとニューヨーク散歩」

会期：2021年6月19日（土）～9月5日（日）

※常設展は企画展の会期にあわせて開催

【注】

新型コロナウイルス感染症の拡大など社会情勢に応じて内容の変更および中止する可能性もございますので、予めご了承ください。

[お問い合わせ先]

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ美術振興財団
アート・コミュニケーショングループ
担当：奥本末世
〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1
Tel. 0877-24-7755 Fax. 0877-24-7766
www.mimoca.org E-mail. press@mimoca.org